

メールマガジン 2023年1月

主にあって2023年の歩みもみるみるうちに1ヵ月が過ぎようとしていますが、如何お過ごしでしょうか。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ドイツの年明けは0時丁度になると、町中で一齐に花火が打ち上げられ、とても賑やかな年始めとなります。ここ数年は環境問題やコロナ禍のために、花火は自粛せざるを得ない状況でしたので、今年はそれまでの我慢を晴らすかのごとく盛大なものとなりました。こちらはクリスマスが日本のお正月のような感じなので、この花火だけがお正月の象徴という感じで、2日からは通常の仕事が始まります。今年は1日が日曜日だったので、私たちは会堂に集まって新年礼拝をお捧げしてから、愛情のこもったとても美味しいお雑煮とお汁粉を頂き、日本のお正月気分を味わうことができました。

2023年教会標語聖句は、「あなたこそエル・ロイ(わたしを顧みられる神)です。」「(創世記16章16節)私たちはともすると、神さまに対して自分の思いや願いを求めることが多く、無意識のうちにご利益信仰へと傾いてしまうことは否めません。先ずは神さまがどのようなお方であるか、この「私を顧みてくださるお方」であることを深く心に留めて、神さま御自身を求める一年でありたいと願いながら、教会の方々と歩み始めています。

ドイツに赴任して早いもので八年目を迎えようとしています。これまでの7年間は、日本では経験することができない大きな恵み、同時に困難なことも多々ありましたが、振り返ってみると「万事が益」であったと実感しています。そして、その歳月は何と足早に過ぎ去ったことでしょうか。現在は2016年に赴任した時とは世界の状況は激変しており、教会の方々、そして私自身も多種多様な変化を感じています。主が今後の教会をどのように導いてくださるのか期待しています。そのためにもお祈り頂けると嬉しいです。

さて、既にお知らせしておりますが、これまで新型コロナウイルス感染拡大のために日本へ一時帰国することができませんでしたが、二月末から四月初めまで、三年振りに宣教報告のために帰る予定であります。招いてくださっている教会に心から感謝いたします。ドイツでの宣教の業を共に担ってくださっている全ての教会や敬愛する皆さま方の元にご挨拶にお伺いしたく願っていますが、限られた時間のために、失礼することもあると思います。その辺の事情をお含みおきくださりお許しいただけますと幸いです。

今年も敬愛する皆さまの歩みが全て守られて、「私たちを顧みて」くださる神さまに助けられながら祝福された2023年となりますように心からお祈りしております。

ホームページにはドイツの様子がわかる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすくなりましたので、是非ご覧ください。<http://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki/mailmagazine.html>

2023年1月1日・新年礼拝。
スカイプ礼拝で参加しておられる方も一緒に記念撮影！
ドイツは公現日までツリーを飾ります。

2023年0時 打ち上げ花火
ケルン大聖堂

